

地域の和イ輪通信 ～町会・自治会活動紹介～

問合先 市民協働課

2014年度 野出町防災訓練

～ 11月9日(日) 野出町会館において図上訓練を実施しました～



当日は雨にもかかわらず、40名ほどの人が野出町会館に集合し、熱心に図上訓練に取り組みました。野出町内の避難経路、危険箇所などを地図上に記入し、日頃感じていたことを客観的に再確認しました。その結果、第1次避難場所は第一小学校であること、避難場所入口の鍵の所在、その後の避難場所は津波を想定すると、南海本線より上が望ましいことなどを確認しました。

また、消防活動の妨げにならないよう、迷惑駐車・駐輪に気をつけることや、野出町の排水は、最終的にりんくうタウンの先の雨水ポンプ場で排水(1分間に25mプール3杯分)されていることが分かりました。浸水被害を防ぐためには、排水管の入水口がゴミにより目詰まりしないよう、日頃からの心がけが最も重要であることが分かりました。この貴重な図面は野出町会館にまとめた物を掲示しておりますので、ぜひご覧ください。

野出町では、今後も積極的に防災対策に取り組んでいきたいと考えています。皆様のご協力をお願いいたします。



市民公益活動団体紹介

問合先 市民協働課

特定非営利活動法人 泉佐野地球交流協会 (ica)

世界の人びとと出会い、気軽に交流できる民間のボランティア団体です。活動の大きな柱のひとつである「日本語教室」について紹介します。

● ica日本語教室って？

地域で暮らす外国人が豊かな暮らしを送れるよう、マンツーマン形式で日本語の勉強をサポートします。学習者のニーズに合わせて、テキストだけでなく指導者自作の教材も使っています。また、年に1回、国際色豊かでユニークな日本語発表会を開催し、学習者が歌やスピーチにチャレンジしています。

● どんな人たちが学んでいるの？

近隣に住む外国出身の人です。主婦や英語の先生、小中高生や大学生、閑空で働く人、研究者、工場や商社で働く人などです。

● どの国の出身者が多いですか？

中国、フィリピン、韓国、台湾出身の人が最も多く、現在、欧米やアジア出身者など13カ国44人が学んでいます。これまでにica日本語教室で学んだ人の出身国は、実に30カ国以上になります。

● 指導者は？

「ica日本語指導者養成講座を修了した人たちです。現在、49人が登録しています。男女比は男性3対女性7、30～80歳代まで幅広い年代の人が指導しています。

● 日本語を学びたいのですか？

一度icaへお越しください。学習の目的や希望時間帯などをお聞きます。※年会費2,000円、毎月の授業料(週1回の受講で月1,000円)が必要です。

日本語教室以外にもさまざまな国際交流活動を行っています。自分の「世界」を広げようという人の参加をお待ちしています。

問合先 特定非営利活動法人 泉佐野地球交流協会 (ica)

(泉佐野市大西1丁目16番5号(佐野公民館の隣) ☎464

・7201 Fax 464・7177 e-mail: ica@ica.gr.jp ホー

ムページ <http://www.ica.gr.jp/>

